

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2016年6月13日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 最低賃金 大幅増必要！ 北海道最低限の生計費調査

格差と貧困が広がり、改めて、国が保障する「ナショナルミニマム」(最低限の生活)が問われています。年金や生活保護は引き下げられ、賃金も低賃金に抑えられています。道労連は、人間らしい生活をするための最低限の生計費を調査しました。このほど、札幌市で25歳が一人暮らしできちんと生活するために必要な生計費(賃金)を公表しました。大幅な賃上げが必要です。

札幌市で若者(25歳単身)がきちんとした生活をするために必要な金額

男性 月額 225,002円 女性 月額 220,249円

年額に換算すると、約270万円前後。(いずれも税など含む)

(一般の労働者の所定内労働時間 149.3時間で計算すると) 北海道の最低賃金 764円

時間額 1,507円

時間額 1,475円

◆道労連に加盟する労働組合の労働者などを対象に、「生活実態調査」「持ち物財調査」を実施。調査全体は約1000名が回答。今回は10代～30代の実際に一人暮らしをしている201名を分析。

### 生計費でまかなわれる内容

- ・白石区の25㎡の1DKのアパート、家賃は34,000円。
- ・通勤は地下鉄を利用。自家用車は持っていない。
- ・冷蔵庫、炊飯器、洗濯機、掃除機、石油ストーブなどは、量販店で最低価格帯のもの。
- ・食費は、男性=約40,000円、女性=約32,000円。朝食は家でしっかりと食べ、昼食は、男性はコンビニなどでお弁当を買い(1食あたり500円)、女性は昼食代を節約するた

めに月の半分は弁当を持参。そのほか、月に2～3回、同僚や友人と飲み会・ランチに行っている。

- ・衣服は、男性は背広2着(約16,000円)を、女性はジャケット2着(約4,000円)とスカート3着(約2,000円)を着回し
- ・休日は家で休養していることが多い。帰省なども含めて1泊以上の旅行は年に3～4回、1回当たりの費用は3～4万円ほど。月に4回は、恋人や友人と遊んだり、映画・ショッピングに行ったりして、オフを楽しんでいる(1回2,000円)。

社会保障を参議院選挙の争点に

22日公示 23日から期日前投票開始 7月10日投開票

アピール行動に参加を



6月15日(水) 12時15分～  
JR札幌駅南口 100人大宣伝

6月17日(金) 13時～  
大通西3丁目 介護アクション

### 勤医協在宅グループ

### 介護現場・事例から考える参議院選挙

勤医協在宅グループは、連絡報にコーナー「介護現場・事例から考える参議院選挙」を設け、各事業所でも分担した「発生している事例をもとに、政治・制度の改善を呼びかけた文」を毎日読み合わせしています。

- 高齢者住宅に住む生活保護利用者 5月の保護費は107000円、住居暖房費が105700円で手元に1300円
- 90歳男性(要介護5) 2割負担で、訪問看護とデイサービスが週2回から1回に減。入浴回数も減
- 70代女性 介護報酬引き下げで利用中の事業所閉鎖、次の事業所も閉鎖、3か所目でデイサービス利用
- 介護職が揃わず介護施設がフルオープンできず。ショートステイも受け入れできず他町の施設利用者も
- グループホームの利用者 車イス、ベッド、褥瘡マットは自費
- 2015年1月から「特定疾患(難病医療)」の医療費が無料から所得に応じて2500円から2万円に値上げ